

今月の特集

我が家に合わせて考える

3世代同居の家づくり

補助制度の拡充で注目の集まる3世代住宅。育児や介護をフォローしやすい反面、生活習慣の違いが心配なご家庭もあるのでは。互いに快適に過ごせる家づくりを考えてみます。

住まいる

SMILE NEWS

ニュース

2016 **4** vol.65

玄関・リビング・水まわり…ほどよい距離感が大切

3世代同居住宅の新築・リフォームへの補助制度が政府の2016年度予算案に盛り込まれ、ニュースで見聞きした方も多いため、子どものいる夫婦と親夫婦と一緒に住むことで、育児や老後の生活・介護で互いの援助が期待できることがメリットに挙げられますが、生活習慣の違いやプライバシーなどでデメリットが心配になるというご家庭も少なくありません。3世代同居では、どのような点に注意すれば良いのでしょうか。

住宅設計においては、共有部分と各戸部分をどう配分し良い距離感を作ることができるかが大切になります。例え

ば、玄関とリビングを家族全体で共有しながら水回りと寝室を各世帯ごとに配置すれば、団らんのスペースを大きく取りながら必要なプライバシーに配慮した設計に。部屋は共有するほど大きな面積が確保できるため、ゆとりを持った居住空間が生まれます。一方、生活リズムの差が大きい場合は玄関からふたつに分けて互いに独立した世帯とし、中間の一部屋を趣味室や共有スペースとする方法も。それぞれを完全に分けてしまうことも可能ですが、庭を挟んで互いの灯りが見えたり、気配が伝わる工夫があると豊かな空間になります。快適に感じる基準は人それぞれのため、親子関係や互いの考えをよく把握した上で柔軟に考えるのが良いでしょう。

変化に対応できる家づくり、「近居」を支援する自治体も

将来の家族の変化に住宅が対応できるようにしておくことも大切です。介護に伴うバリアフリー化や間取りの変更がしやすいことも挙げられますが、劣化が少なく長年に渡って健康的に過ごせることが必要。住宅性能が極めて高い「FPの家」なら、親子で年月を重ねても安心して暮らせるとともに資産価値も確保できるため、変化に合わせて様々な選択肢をもてる点も大きな魅力です。

同居には少し抵抗があるというご家庭の場合には、近居という選択肢もあります。別々の家に住みながらも日常生活において協力しやすく、いざというときにはすぐ駆けつけられるなど同居に近いメリットが得られます。庭を挟んで敷地内に建つ場合から町内の場合まで様々なパターンがあり、引越や新築にかかる費用などを支援する事業を実施している自治体もありますので、お住まいになる地域に合わせて調べてみてはどうでしょうか。

近年は家族の形態も多様化しています。普段から家族で価値観を確認しあい、生活スタイルのイメージを深めておくことが後々のスムーズな家づくりにつながります。



住まいの知恵袋

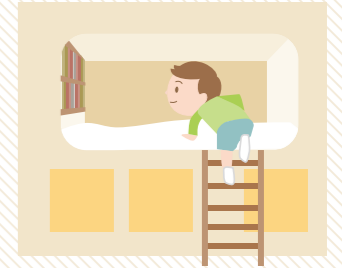


子ども部屋の与え方

子どもの自立や生活習慣づくりのため、いつから個室を与えるかで迷う方も多いのでは。ご家庭によって考え方は様々ですが、小学校中～高学年から少しずつ自分の時間や空間を大切に始める傾向があり、成長のペースに合わせた空間やプライバシーの準備が大切です。

小学校低学年ごろまではリビングや寝室の一角に机やコーナーを与えたり、個室でも開放しておくなど家族の目が届きやすい環境を。思春期に差し掛かると勉強に集中する環境やプライバシーの必要が高まりますが、あえて個室では家具・家電を減らしたり面積を若干抑えておくなど、リビングで家族と過ごす動機づけがあると理想的です。

できた! カンタン DIY



ヒミツ基地(幼児スペース)

子どもの遊びに「かくれんぼ」があるように、小さい子は狭い空間や暗い場所に隠れるのが大好きです。子ども部屋を与えるのはまだ早いというご家庭なら、押入れや屋内の隙間を改装したスペースで幼児サイズの「ヒミツ基地」を作ってみてはどうでしょうか。例えば押入れに照明や本棚などを安全に取り付け、クッションやおもちゃを置けば早変わり。壁面に板を貼って家具と一緒にペンキを塗ったり、扉をつけるさらにグレードアップ。成長に合わせてロフトなども候補になります。

キッズテントという選択肢も。木材4～6本を組み合わせてお好みの布で巻き付ければ、リビングのアクセントにもなりそうですね。

¥ おカネの豆知識

本体工事費と総予算



住宅の新築にかかる費用は大きく本体工事費・付帯工事費・諸費用の3つに分類され、本体工事費は全体の7～8割が目安です。

付帯工事費は外構や地盤改良・造成など建築条件により異なるため早めの把握を。諸費用は引越しや不動産取得税、住宅ローン手続上の費用などがこれに当たります。

👉 暮らしのワンポイント

クローゼットの整理



いつの間にか着ない服が増えて毎年頭を悩ませるクローゼットの整理。着た服や洗濯した服は常に左からかける、といった習慣をつけておくと見分けが付きやすくなります。なかなか捨てられないという方は、1年以上着ない服は処分する、服の総数を決めておくなどのルールに従うと心理的に楽になりますよ。

教えて! Dr. 住まいる

トイレのタンク掃除



トイレ掃除で見落としがちなタンクの中は湿気や水垢の温床。便器に黒い筋が出たら黒カビが発生しているサインです。タンク内は一度空にして、複雑な配管の細かい隙間は古ハブラシと中性洗剤などで掃除を。汚れ予防には数ヶ月ごとにタンクに重曹を入れておくのが有効です。



おかげさまで、「FPの家」グループ誕生30周年